

設立40周年記念誌

40th ANNIVERSARY 1984-2024

公益社団法人
大分市シルバー人材センター



大分いこいの道広場「トウカエデ」の木

目 次

ごあいさつ

公益社団法人大分市シルバー人材センター理事長	江藤 郁 ……	1
------------------------	---------	---

祝辞

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会会長	金子 順一 ……	2
大分市長	足立 信也 ……	3
大分市議会議長	二宮 博 ……	4
公益社団法人大分県シルバー人材センター連合会会長	江藤 郁 ……	5

理事、会員のことば

理事、植木剪定部会会長	深草 秀昭 ……	6
理事、福祉・家事援助サービス部会会長、シルボンヌ委員会委員長	河合伊津子 ……	6
理事、安全・適正就業委員会委員長	幸 義廣 ……	7
会員	山崎 陽二 ……	7
会員	岡田 博行 ……	8
会員	阿部 久子 ……	8

記念式典 ……	9～11
---------	------

手作り品展示・即売会、お楽しみ抽選会 ……	12
-----------------------	----

アトラクション ……	13
------------	----

記念祝賀会 ……	14
----------	----

40年の歩み

できごと ……	15～18
事業実績 ……	19～20
歴代理事・監事 ……	21～22

定時総会・イベント風景、就業風景 ……	23～26
---------------------	-------

事務所風景 ……	27
----------	----

設立40周年記念事業実行委員会・事務局 ……	28
------------------------	----



ごあいさつ

公益社団法人

大分市シルバー人材センター

理事長 江 藤 郁

木々の葉が色づき始め、美しい秋景色が広がる善き日に、多くの会員並びに関係者の皆様とともに、公益社団法人大分市シルバー人材センター設立40周年を迎えることができましたことは誠に光栄であり、慶賀に堪えないところでございます。

足立大分市長、二宮大分市会議長、大分県シルバー人材センター連合会をはじめ、大分県下各シルバー人材センター理事長、事務局長の皆様からの温かいメッセージやお言葉、そして、日頃からの当センターに対するご支援に心から感謝申し上げます。

また、当センターの発展に多大なご貢献をいただき、そのご功績により表彰をお受けいただきました皆様には、深く敬意を表します。

顧みますと、これまでバブル崩壊やリーマンショックなどの「経済情勢の変化」、継続雇用制度の定着などの「就業環境の変化」、地震や台風などの「大規模自然災害による影響」といった様々な困難を経験し、さらに令和2年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大という未曾有の事態に直面しましたが、こうした状況にも適切に対応しながら、現在、会員数1,600名を擁し、契約金額も7億円を超えるセンターへと成長を遂げることができました。これも偏に、発注者のご理解・ご協力のもとより、これまで携わっていただいた歴代の理事長、役職員、会員皆様のご尽力の賜物であり、さらに、大分市をはじめ、国・県のご指導・ご支援のおかげであると重ねて感謝申し上げます。

さて、わが国は、人口減少、少子高齢化が世界に類を見ないスピードで進展しており、地域の経済活力を維持するためには、これまで以上に経験豊かな高齢者が地域社会を支える一旦を担うことが期待され、地域での就業を通じて、会員の生きがいと地域のニーズを結ぶお手伝いをしているシルバー人材センターの果たす役割は益々重要となってきました。

当シルバー人材センターといたしましては、今後とも、会員皆様の安心・安全・健康を第一に、事務局職員一人ひとりがいきいきと業務に専心できる組織の構築に努める中、次の節目である50周年に向けて、一步一步着実に前進し、地域から頼られ喜んでいただける「まちのシルバー人材センター」をめざしてまいります所存でございます。

大分市をはじめ、国・県並びに関係者各位のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様方の更なるご活躍とご健勝を祈念いたしまして私のごあいさつとさせていただきます。

令和6年11月

設立40周年を祝して

公益社団法人
全国シルバー人材センター事業協会
会 長 金 子 順 一



公益社団法人大分市シルバー人材センターが設立40周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和59年の設立以来、40年の長きにわたり、「自主・自立、共働・共助」の理念の下、地域の高齢者の方々が長年培ってきた豊富な知識や経験、技能を生かした就業機会の提供や、地域社会活動への積極的な参加を推進することにより、生きがいの充実と地域社会の福祉の向上に大きく貢献されておられることに対し、深く敬意を表します。

人口減少、少子高齢化が進行する我が国において、シルバー人材センター事業の重要性と、シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

こうした地域社会の期待に応えるためにも、貴シルバー人材センターが、地域の高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、地域社会の支え手を実践できるよう、お力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、今後の貴センターのより一層のご発展と関係者各位のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和6年11月



祝 辞

大分市長 足 立 信 也

大分市シルバー人材センターの設立40周年を心からお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和59年の設立以降、高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織として、地域経済と福祉の発展に多大な貢献をされてられました。また、平成17年の市町村合併に伴う組織統合や平成24年の公益社団法人化などを経ながら、現在では1,600人を超える会員数を擁するまでに成長されておられます。

これもひとえに、江藤 郁 理事長をはじめとした歴代の役員、会員の皆様のたゆまぬご努力が実を結んだものであり、深く敬意を表します。

さて、我が国の人口減少が加速する中で、65歳以上の人口は増加し、高齢化率は上昇を続けております。本市におきましても、2016年をピークに人口は減り続け、15歳から64歳までの「生産年齢人口」も減少傾向にあります。一方で、本市の65歳以上の人口は本年3月末時点で13.5万人を超え、2040年頃まで増加する見込みであり、働く意欲のある高齢者の就労支援や社会参加の更なる推進が求められております。

このような中、貴センターは、高齢者への多様な就業機会の提供等を通して、生きがいの充実や居場所づくりを図られるなど、重要な役割を担っていただいております。本市といたしましても、高齢者が働く喜びと生きがいを実感しながら健康でいつまでも活躍できるよう取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、大分市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます。

令和6年11月

祝 辞

大分市議会議員 二 宮 博



公益社団法人大分市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、貴センターが設立40周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げますとともに、長きにわたる地域活動へのご貢献に深く敬意を表する次第でございます。また江藤理事長をはじめ会員の皆様方の平素からのお取組、市政各般へのご協力に市議会を代表し、厚く御礼を申し上げます。

さて、人口減少、少子高齢化が進む現代において、わが国では価値観や生活様式の多様化、地域コミュニティの希薄化など、これまで地方を支えてきた仕組みが急速に変化してきております。地域の再活性化、少子化対策など解決すべき課題が山積する中で、本市も将来を見据え、次代を見据えた施策の実現、市民誰もが安心して暮らせる社会の構築が、これまで以上に望まれているところでございます。

こうした中「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、高齢者の生きがいや居場所づくり、能力を活かした地域づくりにおいて、貴センターの取組は大きな役割を果たしてきており、本市のまちづくりにおいても、大変意義深いものでございます。今後も地域と共に未来に輝く大分市シルバー人材センターの実現へ向け、地域社会との連携を深められますとともに、将来にわたり地域活動の担い手として活動を続けていただくため、会員の増強や新たな取組への挑戦など、崇高な志のもと積極的な活動を展開されることを期待いたしております。

会員の皆様方におかれましては、これからも豊富な知識と経験をもとに、永くご活躍いただき、議会や行政のよきパートナーとして、心豊かで住みよい活力ある地域づくりの実現に向け、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人大分市シルバー人材センターの今後益々のご発展と、会員皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

令和6年11月



設立40周年を祝して

公益社団法人

大分県シルバー人材センター連合会

会 長 江 藤 郁

公益社団法人大分市シルバー人材センターが設立40周年を迎えられたことに対し、心からお祝い申し上げます。

貴センターは、昭和59年の設立以来、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員の皆様が長年培ってこられた技術や経験を活かしながら、それぞれが地域社会に貢献できる場を提供されるとともに、地域社会の活性化や福祉の増進にも大きく寄与されております。

併せて、県内におけるシルバー人材センターとして最初に設置され、以後、県内センターの中核として他のセンターをリードし、輝かしい実績を挙げておられます。

このように、40周年という大きな節目を迎えられましたのも、歴代の理事長をはじめ役職員や会員の皆様一人ひとりのたゆまぬご努力と熱意の賜物であり、また、市長や市議会議員、更には市民の皆様のご理解とご協力により、これまで、シルバー人材センター事業を積極的に展開し、多様なサービスを提供する中で事業の拡大、発展を遂げられておりますことに対し、深く敬意を表する次第でございます。

さて、我が国においては、総人口が減少する中で、少子高齢化の進行により、労働力の不足が今後益々大きな課題になってくることが予想されています。「人生100年時代」に向けて、生き方・働き方の多様化を前提とした社会保障制度の変革が進み、高齢者の就業ニーズの増加が見込まれる中、社会・人生経験の豊富な高齢者が活躍する環境づくりが求められており、高齢者のニーズに合った多様な就業機会を提供していく必要があります。

こうした中、臨時的・短期的または軽易な就業やボランティア等の社会参加を希望する高齢者にとって、地域社会に根ざしたシルバー人材センターは重要な役割を果たしており、今後とも積極的に事業を推進していくことが期待されています。

貴センターにおかれては、高齢者が健康で、意欲と能力のある限り年齢に関わりなく働き続けることができる「生涯現役社会」の実現や、高齢者が生き甲斐をもって就業や地域活動ができる環境づくりに、更なるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

私も大分県シルバー人材センター連合会といたしましても、社会経済情勢を見据えながら、県下各シルバー人材センターと一丸となってシルバー人材センター事業のなお一層の発展に取り組んでいく所存であります。

結びになりますが、公益社団法人大分市シルバー人材センターの今後益々のご発展と、皆様の御健勝と御活躍を心から祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和6年11月

理事、会員のこぼ

理事、植木剪定部会会長 深 草 秀 昭



会員の皆様、そして事務局、役職員の皆様、この度、公益社団法人大分市シルバー人材センターが設立40周年を迎えられましたことは大変喜ばしいことであります。

また、会員として、理事の一人としてこの記念行事に参画できますことはご同慶の至りであります。大分市シルバー人材センターが1984年11月に社団法人として設立された時点で、私は30代であり、全く無関心でありました。その後も入会するまでは存在すら知らなかったのです。入会のきっかけは40年以上勤めた会社を辞め、第一線を退いた喪失感を味わったからであります。

私は植木剪定部会を第1志望に入会を希望しました。当時は護国神社下の崖っ縁に事務所がありまして、班長さん達の面接は20代の頃のように緊張した記憶があります。

合格して入会した植木剪定部会第16期生は31名でした。現存の在籍者はほんの数名になりました。

当時の事務所には駐車場が殆どなく研修室も狭くて多人数の研修をすること自体が大仕事だったと思います。

時を経て事務所の環境はすばらしいものになっていると感じます。先ず率先してジェンダーフリーを取り入れた明るい事務所環境は自ずからカスタマーファーストに徹しています。事務所の明るい笑みは会員の皆様の明るい笑みに繋がり、それは発注者＝お客様の喜びに繋がると存じます。

さて、シルバー人材センター組織は高齢者の「生きがい就業の場」です。

それは「社会的接触の場」、「社会的役割の場」、「収入を得る場」、「健康を維持する場」であります。それは日野原重明先生の言う積極的に「老いを『創める』」に繋がります。

生涯現役として「生き生き生きる」同輩会員のますますの増員を祈念する次第です。

理事、福祉・家事援助サービス部会会長

シルボンヌ委員会委員長 河 合 伊津子



この度、シルバー人材センターが設立40周年を迎え、その記念行事が11月12日(火)にJ:COMホルトホール大分において、盛大に執り行われました。理事長をはじめ事務局長、職員の方々、理事の方々、多くの会員の皆様が綿密な準備をされ、盛大に滞りなく終えることができましたことは大きな喜びに堪えません。また、40周年記念という、その場に立ち会えたということはとても光栄であり、シルバー人材センターが設立されたことの重要性を改めて認識した一日でした。

こんなに充実した毎日を過ごせるようになった私がシルバー人材センターに入るようになったきっかけは新聞や広告のチラシを見て、私にも働けそうと思ったからです。そしてこれまで、個人宅の食事作り、清掃、幼稚園内の花壇の整備(草取り、花植え)を行ってまいりました。こうした福祉・家事援助の仕事は、とても重要で、お客様に寄り添い、見守っていくことが今では毎日仕事の目的となり、私自身が生きがいを感じています。沢山の仕事との出会いがあり、楽しみがあり、シルバー人材センターに入って良かったと思っています。また、今では、シルバー人材センターの活動を通じて、仲間の人たちとの小物づくりにも勤しんでいます。特に、午前10時より1階エントランスホールにて行われた8名の会員による手作り品の即売会には、私も女性のための交流と会員の入会促進をすすめるシルボンヌ委員会委員として参加し、シルボンヌ委員会の活動内容の展覧も彩りを添えることができ、平日ではありましたが、一般市民の方にもシルバー人材センターの活動を知っていただく良い機会になったと思います。

私たち会員は、今一度シルバー人材センターの意義を考えた時、生きがいと社会参加・奉仕活動等これまでの成果を継承しつつ、多くの出会いに感謝をしながら、お役に立てることの幸せを想い、仕事に精一杯に打ち込むことが今後のシルバー人材センターの発展に繋がっていくと思います。今後も、新たな目標に向かい、益々の発展を力強く進めてまいりたいと考えています。



理事、安全・適正就業委員会委員長 幸 義 廣

思えば、四月の底冷えのする朝だった。

朝刊をめくりながらふと「シルバーで経験を生かしませんか」という活字が目にとまった。「やりたい」と「止めておこう」の気持ちが交錯したまま入会し、スーパーのカート整理作業を引き受けた。仕事はやりがいと反省が拮抗した。平成二十四年の夏だからもう十二年が過ぎたが、入会説明会の折に聞いた「プライドは捨てましょう」という言葉が今も心に残っている。

その後、仕事の傍ら役員も引き受けた。人々との会話は実に新鮮で、同年代との交流に妙味を覚えたことも役員を引受けた要因かも知れない。

安全・適正就業委員を引受けて六年が経過したが、今もって安全就業の何たるかに悶々とする日々だ。炎天下でのお仕事には事故注意喚起よりも「ご苦労様です」の一言が優る。シルバー業務は何よりも自覚と誇りを持ち、「思いやる」心が不可欠だ。それは一つにはシルバーの基本として「仕事を仲間と分かち合って仲良く就業する」という理念が長く息づいていることによるものかも知れない。

シルバーは創立四十周年を迎えた。それはこれまで額に汗して就業されてきた先達会員や共に努力された事務局の一体的な推進力で今日のシルバーを築かれたと確信している。「継続は力」の精神に大いに敬意を表するところであり、更なる発展を心から願っている。

しかし、現今のシルバーを取り巻く環境は日々変化を続けており、順応性も必須だ。特に若年層のSNSによる発信力は留まるところを知らず、日常生活へも浸透し、シルバー世代にもやがてその波は押し寄せてくるだろう。

今後は会員増強の手段としてSNS等を活用したデジタル化の一層の取り組みが欠かせない。更に高齢者向けeスポーツやシルボヌの情報発信、高齢者の居場所づくり等々、シルバー人材センターの役割は一段と大きく、その特性を活かし高齢者福祉の向上に寄与する組織の一会員としてシルバーの事業に今後も参画したいと願っている。



会 員 山 崎 陽 二

会員の皆様にははじめましてではない方もおられるかもしれません。

今年度の総会で議長をさせていただき、議長権限でリフレッシュ体操をさせていただいたのは私です。私は大学卒業以来健康づくりの仕事をしてきました。それもあって総会の途中に体操を提案したら快く許していただいて、シルバー人材センターの皆様の懐の深さに感謝しています。

6年前還暦を迎えた時から人材センターの名前は知っていましたが、活動の内容は全く知りませんでした。たまたま友人の紹介で会員になり参加できました。まだ4年目ですが、自営業で日々の仕事で現役のため軽作業、特に草取り作業、それも数件の活動しかできていません。市内の田舎で生まれた私にとって草は普通にあるもので当たり前の景色でしたので、やったことのない草取りは新鮮でした。ただ、夏からの活動でしたから実際は暑くて大変で2時間の草取りは苦痛でした。軽作業とは名ばかりの重労働やないかって思いながら草と格闘したこともあります。

そんな時、綺麗になった玄関周りを見たお客様のおばあちゃんが本当に嬉しそうに「本当に綺麗になってありがとうございます」と笑顔でいってくれました。1ヶ月に1回の作業ですが、「あんたが来てくれるのをいつもまっちゃんので、またお願いね」と言ってくれました。自分はこのひと言のために人材センターの活動に参加したんだって実感しました。

ひとり一人の活動自体は小さなことかもしれませんが、そこには必ず必要としていただいている人がいる。待っている方々への小さな救いが大きな支えとなって社会に貢献できていけばいいなあと思っています。

これからも感謝のお言葉をいただけることに感謝してシルバー人材センターで活動を続けていきます。

会 員 岡 田 博 行



大分市シルバー人材センター設立40周年を大変うれしく思っております。私は令和3年11月に入会しました。同年の8月末で現役を引退し、星生山、由布岳、高崎山、猪群山などの登山を楽しむ穏やかな生活を送っていました。

入会のきっかけとなったのは親愛なる友人から勧められ、健康で体力があれば何らかの形で社会に関わり続けたいとの思いから入会を決めました。入会後程なく職員の方から紹介をいただいた初めての仕事が「遺跡発掘作業」でした。高校生の時、部活で同様の活動を経験しており、懐かしい気持ちとワクワク感からテンションが上がり「お願いしたい」と返答したものの、この年で本当にできるだろうかと一抹の不安がありました。指定された日時に現場へ赴くと自分より年配の方々が多数おり、しかも発掘作業を専門にしているベテラン揃いには驚かされ私の不安は一蹴されました。

シルバー人材センターから派遣された我々素人に対し先輩の皆さん方のアドバイスにより、作業初日から和気あいあいと作業することができたことを覚えています。

今まで出会ったことのない人たちと関わり合いを持ち会話することはとても新鮮で仲間意識もあり楽しかったです。発掘作業は1か月程度で終わりましたが、とてもいい思い出になりました。

次に、マンション共用部の清掃と管理人の仕事を11か月やりました。令和4年12月からは「わが家の防災マニュアル」配布事業のプロジェクトに準備作業段階から参加し、10数名の会員の皆さんと共同で作業を進め、翌年2月にはパンフレットの袋詰めも終わり準備完了、メインの配布業務となったのですが、人的問題等で思うように仕事がはかどらない毎日が続き、気持ちばかりが焦り、どうすることもできなかった状態の中、職員との連携で4月末で完結することができました。配布事業に最後までご尽力いただいた会員の皆様、その節は大変お世話になり、本当にありがとうございました。改めて感謝御礼申し上げる次第です。

生みの苦しみはありましたが達成感を感じる業務でした。今となつては、これも良き思い出です。

会員とのパイプ役を担っている職員の方々の笑顔から紹介して頂く仕事で生きがいももらい、元気の源となっています。健康で体力の続く限り社会に役立てるよう日々精進したいと思います。

これからも大分市シルバー人材センターが会員とともに社会に貢献し、次の節目である50周年に向けて益々発展するよう祈念いたします。

会 員 阿 部 久 子



60歳前半の頃、乳癌と離婚と一度に災いがおとずれ落ち込んでいる私を、見るに見かねた子どもたちが一緒に暮らそうと声をかけてくれ、福岡に住むことになりました。大分では歩いているだけで、何かしら声をかけてくれる人がよくいたのですが、都会では皆とても冷たく感じて、子どもたちが仕事や学校に行っている間は一人で散歩したり、テレビを見ているだけの毎日でした。大分にいる頃は週に2回フラダンスに行き、友達と食事やおしゃべりをして楽しかったなあと池のほとりで水面をながめて1時間ぐらいボーとしていることもありました。

子どもたちが自分に気を使ってくれ助けてくれることも多く、私は自分がとても年寄りのような感覚にどんどんなっていくのが分かり、スポーツジムに行つて汗を流したりもしたのですが、何か満たされず、5年程子どもたちと一緒に暮らしたあと、大分にいる年老いた母を口実に、思い切って大分に戻る決心をしました。私でも買えるマンションを探し、少しでも収入があればと仕事を探すことにしました。昔、シルバー人材センターの人が庭の手入れに来てくれていたのを思い出し、勇気を振りしぼつてセンターに行ってみました。私などにできる仕事があるのかなあと思っていたのです。

最初にいただいた仕事は市の防災マニュアルの配布でした。それまで家でじっとしていることが多かったのもとても疲れしました。その後は家事手伝い、草取り、そしてスーパーの朝の商品出しと少しずつ仕事が増えていき、今は月20日程仕事をし、週1回はフラダンスに通い、月のほとんど出かけている日々です。カレンダーがスケジュールでいっぱいです。忙しくしていると自分が必要とされているありがたさで毎日がとても充実しています。いろいろな人と話をすることも楽しいし、何よりも手足に筋肉がついて以前より歩くのも早く元気になったことにビックリです。

一人でさみしいこともあります。そんなことを考える暇もないくらい仕事と遊びに充実した毎日です。仕事は2時間なので身体の弱い私にはちょうど良く、仕事で疲れた後のゆったりした時間がとても優雅な至福のひとつです。

記念式典

11月12日(火)、J:COMホルトホール大分にて設立四十周年記念事業を執り行いました。

14時から、多くの会員の皆様の参加のもと記念式典を開催し、式典では、最初に理事長から式辞があり、当センターのこれまでの経過を紹介し、今後の進むべき方向性を示すとともに、感謝状及び表彰状を贈呈する皆様へお祝いとお礼の言葉を申し述べました。

次に、大分市長 足立信也様から祝辞をいただき、当センターのこれまでの発展への敬意と感謝、また、今後のセンターの果たす重要な役割への期待を述べられました。

引き続き、大分市議会副議長 高橋弘巳様から、少子高齢化、人口減少社会の中でのセンターの役割の重要性や今後ますますの発展を祈念する祝辞をいただきました。

また、全シ協会長と大分県連合からのお祝いのメッセージと多数の祝電を披露しました。

続いて、これまで多大な貢献をいただきました企業の皆様へ感謝状を、歴代理事長や役員十年以上経験者、在籍20年以上の会員の皆様へ表彰状を贈呈しました。

感謝状、表彰状の贈呈後、受彰者を代表して、在籍20年以上会員表彰の松原貞子様からの謝辞をもって式典を終了しました。

次 第 (14:00~14:45)

- 1 開式のことば
- 2 理事長式辞
- 3 来賓祝辞
- 4 来賓紹介
- 5 祝電披露
- 6 経過報告
(40年の歩み)
- 7 感謝状及び
表彰状贈呈
- 8 謝辞
- 9 閉式のことば



女性会員でつくるシルポ
ンヌ委員会の手芸品や木工
品などの展示即売会、フォ
ークバンド「ディアフレ
ンズ」のステージもあった。
同センターは1984年
に発足。現在、会員は16
10人。草刈りなど地域の
細かなニーズに応え、20
23年度の受注額は約7億
円に上る。(三上奈穂子)

【大分】大分市シルバ
人材センターの設立40周年
記念式典が12日、同市金池
南のJCOMホルトホール
大分であった。
会員ら約240人が出
席。江藤都理理事長が「地域
社会の活力のために高齢者
の役割はますます重要。今
後も会員の安心、安全、健
康を第一に着実に歩みた
い」とあいさつ。センタ
ーの発展に貢献した9社に感
謝状を贈り、37人を表彰し
た。



長年尽力した会員らを表彰

※令和6年11月17日 大分合同新聞11面 この記事・写真は合同新聞社の許諾を得て掲載しています。



記念品

（公社）大分市シルバー人材センター

（公社）大分市シルバー人材センター
設立40周年記念

40 YEARS ANNIVERSARY
おかげさまで **40周年**
設立40周年記念式典開催!!

●と き／令和6年11月12日(火) 14時
●と ころ／J:COMホルトホール大分 大ホール
※当日記念品があります。

記念式典プログラム

- 開会挨拶
- 理事長挨拶
- 大分市長挨拶
- 大分市議会議員挨拶
- 来賓紹介
- 祝電披露
- 感謝状及び表彰状贈呈
感謝状：協力企業
表彰状：歴代理事長
役員通算10年以上経歴者
在籍20年以上の会員
- 閉会挨拶

式典の前に「手作り品展示・即売会」を、式典終了後に「お楽しみ抽選会」と「アトラクション」を行います。

裏面をご覧ください

★手作り品展示・即売会

- 時 間／10時～13時
- 場 所／J:COMホルトホール大分 エントランスホール
- 内 容／洋服・木工製品・手製品・バッグ・小物 ほか

★豪華景品が当たる「お楽しみ抽選会」

★アトラクション

「ディアフレンズ」によるコンサートを開催します。
「ディアフレンズ」は、船代「南こうせつとかぐや姫」で活躍された森達一郎さんを中心に活動しているグループバンドです。
演奏曲目は、「神田川」・「なごり雪」・「曙めぐり」・「白いブランコ」・「竹田の子守歌」などの予定で、
『さようなら』です。
会員の皆様には、懐かしきフォークソングをお楽しみください。



感謝状贈呈者

(順不同)

株式会社サンリブ様
イオン九州株式会社様
株式会社日光商事様
生活協同組合コープおおいた様
大分ケーブルテレコム株式会社様
くろがね工業株式会社様
株式会社ニシケン様
有限会社瀬戸商店様
株式会社レントス様



表彰状贈呈者

(順不同)

歴代理事長

窪田 英雄 様 安東 保 様
久渡 晃 様 右田 芳明 様



役員通算10年以上経験者

築城 和生 様 東 尚明 様
臺 博美 様 宮崎 英子 様
大崎 和吉 様



在籍20年以上の会員

松原 貞子 様 阿南 義光 様
阿南 義弘 様 平岡 功次 様
吉武 敏雄 様 河村 伝治 様
小坂元幸人 様 後藤 治憲 様
曾根崎京子 様 江藤 良信 様
小方 英男 様 木元 利廣 様
衛藤 鈴子 様 藤田 久人 様
渡邊 静雄 様 植木 博 様
宮崎 源吾 様 黒川 邦彦 様
井下 正 様 白肌 勉 様
甲斐 忠良 様 野末三千久 様
小野 暁美 様 衛藤 勝市 様
三浦 露子 様 田原 義隆 様
江藤 正敏 様 田口 富子 様



手作り品展示・即売会

10時から13時の間に会員による「手作り品展示・即売会」を行いました。この展示・即売会では、洋服、木工製品、手芸品、小物、ミニサボテンなどの出展に、多くの方が手作り品を買い求めていました。また、あわせて「シルボンヌ委員会」からも出展し、これまでの活動の成果であるペーパークラフトを使用したバッグや籠、リースなどを展示するとともに、女性会員の拡大や就業開拓などの普及啓発に努めました。



お楽しみ抽選会

式典終了後の「お楽しみ抽選会」では、1等（おおいた和牛ステーキ）1本、2等（おおいた和牛焼肉用）3本、3等（大分県産豚生姜焼き用）5本、4等（大分県産肩ロースしゃぶしゃぶ用）10本、5等（サララップバラエティー詰め合わせ）20本の合計39本の抽選を行い、当選番号に一喜一憂していました。



アトラクション

「お楽しみ抽選会」の景品決定の熱気が冷めやらぬうちに、アトラクションとして、「ディアフレンズ（構成メンバーがシルバー世代の地元で人気の音楽グループ）」によるコンサートを開催し、「神田川」や「なごり雪」、「グループサウンズメドレー」など来場者にお馴染みの曲が演奏され、客席と一体となって盛り上がりました。

「DEAR FRIENDS」のコンサート

“神田川”

“なごり雪”

“岬めぐり”

“白いブランコ”

“ブルーシャッターを君だけに” など



記念祝賀会

18時から20時に会場を移して、受彰者と関係者による祝賀会を開催しました。

設立40周年記念祝賀会

日 時：11月12日（火曜日）18時～

場 所：日航大分オアシスタワー 5階孔雀の間

出席者：大分市議会副議長、県連合事務局長、
県内シルバー人材センター理事長、
受彰者、役員及び地域班長、
各部会役員など

次 第

18：00 － 開会

1. 開会のことば
2. 理事長挨拶
3. 祝辞
4. 乾杯
5. 歓談

祝賀演目 尺八・ギター演奏
三味線演奏
神楽奉納

6. 万歳三唱

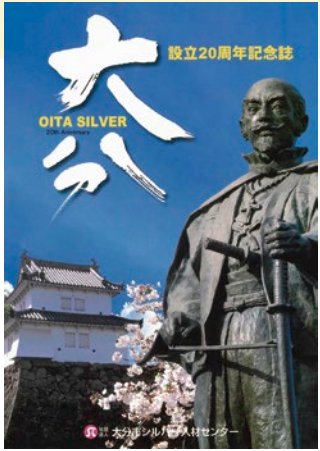
7. 閉会のことば

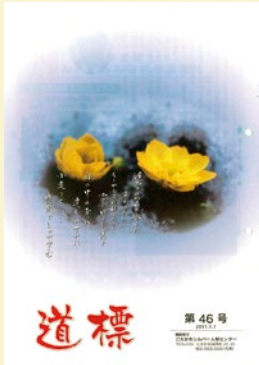
20：00 － 閉会



40年の歩み できごと

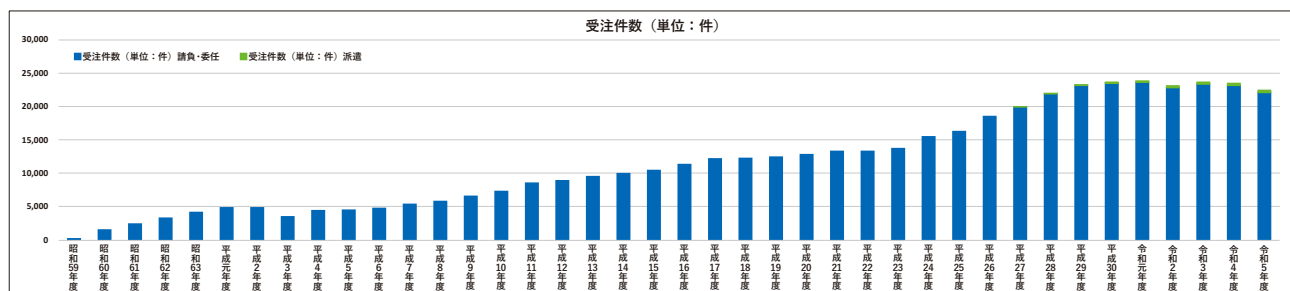
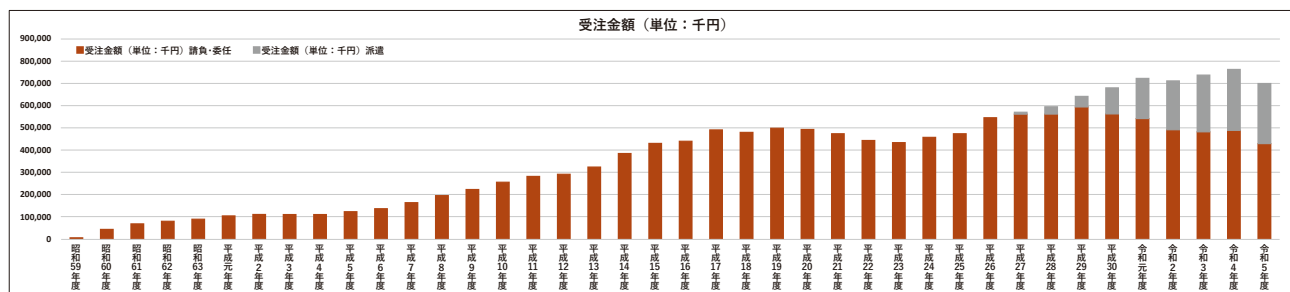
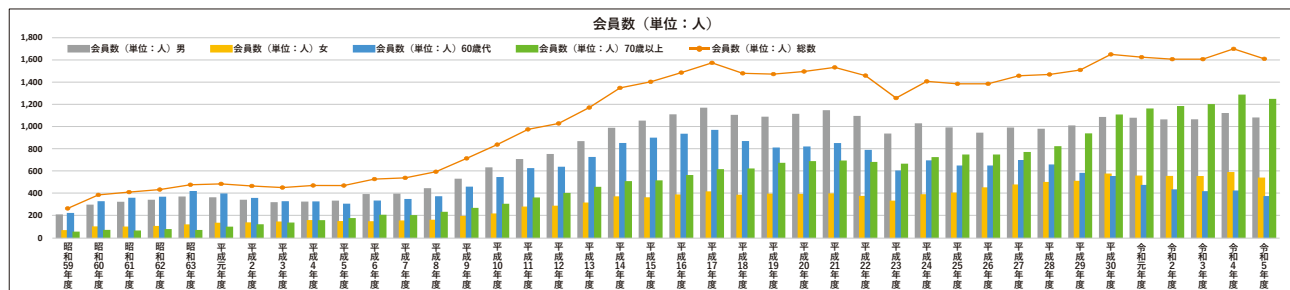
昭和59(1984)年度 (理事長 後藤孔明)	(11月8日) 大分県市町村会館大ホールで設立総会を開催 (12月10日) 社団法人の県の設立許可 (12月18日) 市営陸上競技場会議室で業務開始 (12月26日) 社団法人の設立登記
昭和60(1985)年度 (理事長 後藤孔明)	(5月10日) 九州ブロックシルバー人材センター協議会に加入 (7月8日) 全国シルバー人材センター協議会に加入
昭和61(1986)年度 (理事長 後藤孔明)	(8月6日) 旧事務所(高城)新築工事に着工 (10月) 放置自転車再生事業を開始(大分市より) (12月11日) 旧事務所(高城)落成式 
昭和62(1987)年度 (理事長 後藤孔明)	(10月) 地域組織班の編成・地区委員・班長の誕生 地域班組織3地区11班で発足 (12月28日) 会報「道標」を創刊 
昭和63(1988)年度 (理事長 後藤孔明)	
平成元(1989)年度 (理事長 後藤孔明)	受注金額が1億円を超える シルバーシステムを導入 (5月10日)「道標」第6号として5周年記念誌発刊 (10月6日～15日) 大分生活文化展に初のシルバー作品を展示
平成2(1990)年度 (理事長 後藤孔明)	
平成3(1991)年度 (理事長 後藤孔明)	(4月25日) 大分県シルバー人材センター協議会設立総会開催
平成4(1992)年度 (理事長 後藤孔明)	(11月12日) 会員自主グループ活動委員会活動開始
平成5(1993)年度 (理事長 後藤孔明)	安全就業対策推進員を配置
平成6(1994)年度 (理事長 後藤孔明)	(5月31日) 大分文化会館第2小ホールで 設立10周年記念式典を開催 

平成7(1995)年度 (理事長 安部 豊)	(4月1日) 地域班を5地区54班に再編成
平成8(1996)年度 (理事長 安部 豊)	会員便り第1号発行 (6月1日) 植木剪定部会の設立と部会に地域班を組織
平成9(1997)年度 (理事長 安部 豊)	(10月1日) 法改正により大分県シルバー人材センター連合会が発足
平成10(1998)年度 (理事長 安部 豊)	
平成11(1999)年度 (理事長 阿部利重)	
平成12(2000)年度 (理事長 阿部利重)	
平成13(2001)年度 (理事長 阿部利重)	就業機会創出員制度がスタート 大分県安全運転管理協議会へ加入 (8月24日) 草刈り部会結成 (9月27日) 国指定事業地域高齢者参加促進事業 「いきいきシルバー活動総合事業」の 指定通知 (1月1日) 配分金支払日を毎月25日に変更 (1月25日) 広報誌「いきいき」を創刊
	
平成14(2002)年度 (理事長 阿部利重)	筆耕部門の世話人会が発足 (5月22日) 福祉・家事援助サービス班を部会組織に変更 (10月25日) 第1回シルバー文化祭を開催
平成15(2003)年度 (理事長 阿部利重)	
平成16(2004)年度 (理事長 阿部利重)	(4月1日) 軽度生活援助事業を開始 ホームページを開設 (11月8日) 設立20周年を迎える (11月12日) 大分市コンパルホールで 設立20周年記念式典を開催 (1月1日) 市町村合併で佐賀関町と野津原町が 大分市に編入
	
平成17(2005)年度 (理事長 窪田英雄)	(4月1日) 市町村合併により佐賀関地区に連絡所を設置 (4月以降) 市町村合併により毎週火曜日に野津原地区に相談コーナーを設置

平成18(2006)年度 (理事長 窪田英雄)	(6月2日) 団塊世代への就業対策としてライフパル相談所を開設
平成19(2007)年度 (理事長 窪田英雄)	
平成20(2008)年度 (理事長 安東 保)	
平成21(2009)年度 (理事長 安東 保)	
平成22(2010)年度 (理事長 安東 保)	
平成23(2011)年度 (理事長 久渡 晃)	(3月19日) 公益社団法人として県が認定
平成24(2012)年度 (理事長 久渡 晃)	(4月1日) 公益社団法人へ移行 (7月25日) 「道標」の装丁を刷新した第1号を創刊  
平成25(2013)年度 (理事長 久渡 晃)	(2月1日) 現行ホームページへ変更 
平成26(2014)年度 (理事長 久渡 晃)	受注金額が5億円を超える (11月8日) 設立30周年を迎える
平成27(2015)年度 (理事長 久渡 晃)	(7月1日) 労働者派遣事業を開始 (9月30日) 大分市と「空き家等の適正の管理」に関する協定を締結

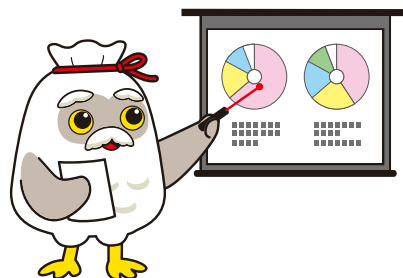
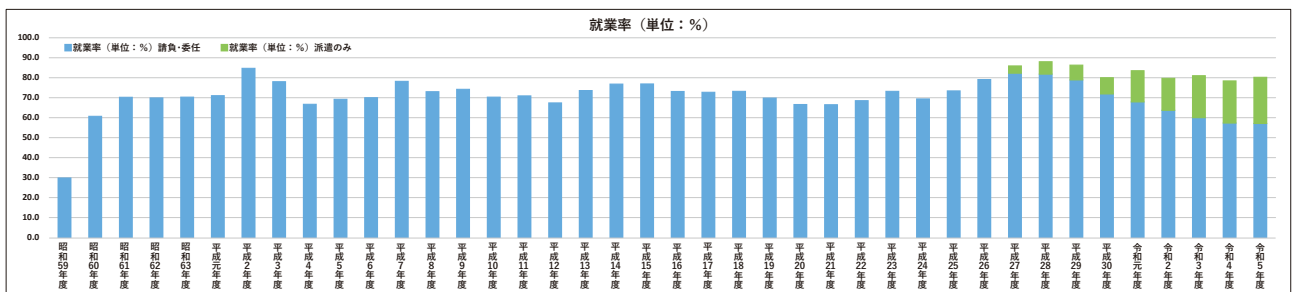
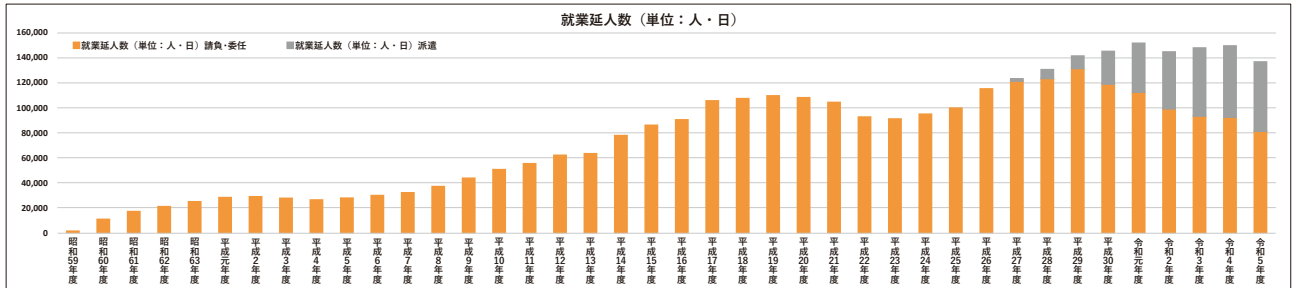
40年の歩み 事業実績

	会 員 数（単位：人）					受 注 金 額（単位：千円）		
	総 数	男	女	60歳代	70歳以上	総 額	請負・委任	派 遣
昭和59年度	262	202	60	215	47	4,713	4,713	—
昭和60年度	384	290	94	321	63	42,616	42,616	—
昭和61年度	409	316	93	352	57	67,409	67,409	—
昭和62年度	432	334	98	362	70	78,991	78,991	—
昭和63年度	475	363	112	413	62	88,435	88,435	—
平成元年度	483	356	127	391	92	103,248	103,248	—
平成2年度	464	334	130	351	113	109,932	109,932	—
平成3年度	450	312	138	321	129	109,450	109,450	—
平成4年度	469	318	151	319	150	109,537	109,537	—
平成5年度	468	326	142	299	169	122,214	122,214	—
平成6年度	526	385	141	327	199	135,806	135,806	—
平成7年度	537	389	148	341	196	162,761	162,761	—
平成8年度	592	438	154	366	226	194,673	194,673	—
平成9年度	713	524	189	452	261	222,409	222,409	—
平成10年度	837	626	211	539	298	255,033	255,033	—
平成11年度	974	701	273	619	355	281,318	281,318	—
平成12年度	1,028	747	281	632	396	290,791	290,791	—
平成13年度	1,171	862	309	720	451	323,457	323,457	—
平成14年度	1,348	983	365	846	502	384,303	384,303	—
平成15年度	1,403	1,047	356	894	509	429,779	429,779	—
平成16年度	1,486	1,104	382	929	557	439,459	439,459	—
平成17年度	1,574	1,164	410	964	610	490,610	490,610	—
平成18年度	1,479	1,099	380	863	616	479,552	479,552	—
平成19年度	1,472	1,083	389	805	667	498,257	498,257	—
平成20年度	1,496	1,109	387	814	682	492,636	492,636	—
平成21年度	1,533	1,141	392	845	688	473,410	473,410	—
平成22年度	1,459	1,090	369	784	675	443,116	443,116	—
平成23年度	1,257	931	326	598	659	433,241	433,241	—
平成24年度	1,407	1,023	384	689	718	457,172	457,172	—
平成25年度	1,385	986	399	643	742	473,426	473,426	—
平成26年度	1,385	939	446	643	742	545,563	545,563	—
平成27年度	1,457	985	472	692	765	570,147	561,700	8,447
平成28年度	1,469	974	495	652	817	594,764	561,931	32,833
平成29年度	1,509	1,004	505	577	932	641,772	594,208	47,564
平成30年度	1,650	1,080	570	548	1,102	679,925	562,640	117,285
令和元年度	1,625	1,073	552	468	1,157	722,622	541,645	180,977
令和2年度	1,607	1,058	549	428	1,179	711,505	491,235	220,270
令和3年度	1,607	1,059	548	411	1,196	737,685	481,949	255,736
令和4年度	1,700	1,116	584	418	1,282	763,105	488,648	274,457
令和5年度	1,610	1,076	534	367	1,243	699,737	428,845	270,892



※ の網掛は各項目の最高値を示し、 の網掛は各項目の一定の数値を最初に超えた数値を示します。

受 注 件 数 (単位: 件)			就 業 延 人 数 (単位: 人・日)			就 業 率 (単位: %)		
総 数	請 負・委 任	派 遣	総 数	請 負・委 任	派 遣	合 計	請 負・委 任	派遣のみ
135	135	—	1,142	1,142	—	29.8	29.8	—
1,456	1,456	—	10,683	10,683	—	60.7	60.7	—
2,343	2,343	—	16,856	16,856	—	70.2	70.2	—
3,219	3,219	—	20,801	20,801	—	69.9	69.9	—
4,090	4,090	—	24,758	24,758	—	70.3	70.3	—
4,790	4,790	—	28,102	28,102	—	71.0	71.0	—
4,780	4,780	—	28,799	28,799	—	84.7	84.7	—
3,438	3,438	—	27,514	27,514	—	78.0	78.0	—
4,353	4,353	—	26,203	26,203	—	66.7	66.7	—
4,435	4,435	—	27,646	27,646	—	69.2	69.2	—
4,698	4,698	—	29,703	29,703	—	70.0	70.0	—
5,311	5,311	—	31,930	31,930	—	78.2	78.2	—
5,737	5,737	—	36,921	36,921	—	73.0	73.0	—
6,509	6,509	—	43,631	43,631	—	74.2	74.2	—
7,238	7,238	—	50,523	50,523	—	70.3	70.3	—
8,484	8,484	—	55,275	55,275	—	70.9	70.9	—
8,851	8,851	—	62,029	62,029	—	67.4	67.4	—
9,468	9,468	—	63,300	63,300	—	73.6	73.6	—
9,916	9,916	—	77,787	77,787	—	76.8	76.8	—
10,398	10,398	—	86,041	86,041	—	76.9	76.9	—
11,286	11,286	—	90,455	90,455	—	73.1	73.1	—
12,129	12,129	—	105,648	105,648	—	72.7	72.7	—
12,203	12,203	—	107,407	107,407	—	73.2	73.2	—
12,407	12,407	—	109,699	109,699	—	69.8	69.8	—
12,776	12,776	—	108,197	108,197	—	66.6	66.6	—
13,265	13,265	—	104,364	104,364	—	66.5	66.5	—
13,268	13,268	—	92,703	92,703	—	68.5	68.5	—
13,680	13,680	—	91,088	91,088	—	73.2	73.2	—
15,453	15,453	—	94,954	94,954	—	69.4	69.4	—
16,239	16,239	—	99,811	99,811	—	73.4	73.4	—
18,502	18,502	—	115,206	115,206	—	79.1	79.1	—
19,960	19,951	9	123,337	121,363	1,974	85.9	82.3	3.6
21,966	21,929	37	130,666	123,471	7,195	88.0	81.8	6.2
23,251	23,183	68	141,608	131,452	10,156	86.3	78.9	7.4
23,656	23,501	155	145,283	118,983	26,300	80.0	71.9	8.1
23,827	23,660	167	151,805	112,457	39,348	83.5	67.9	15.6
23,102	22,853	249	144,869	99,151	45,718	79.7	63.7	16.0
23,656	23,383	273	148,005	93,350	54,655	81.0	60.0	21.0
23,468	23,185	283	149,657	92,439	57,218	78.4	57.3	21.1
22,425	22,117	308	136,865	81,174	55,691	80.2	57.1	23.1



40年の歩み 歴代理事・監事

役職名	氏 名	在 任 期 間
理 事 長	後 藤 孔 明	昭和59年度～平成 6 年度
〃	安 部 豊	平成 7 年度～平成10年度
〃	阿 部 利 重	平成11年度～平成16年度
〃	窪 田 英 雄	平成17年度～平成19年度
〃	安 東 保	平成20年度～平成22年度
〃	久 渡 晃	平成23年度～平成27年度
〃	右 田 芳 明	平成28年度～令和 2 年度
理事長代理	安 部 寅 雄	平成16年度
理 事	工 藤 鉄	昭和59年度
〃	下永吉 貢	昭和59年度
〃	新井川 勝	昭和59年度
〃	柴 崎 新 一	昭和59年度～昭和60年度
〃	児 玉 勝 正	昭和59年度～昭和61年度
〃	飯 田 司 郎	昭和59年度～昭和62年度
〃	神 山 高 明	昭和59年度～昭和62年度
〃	吉 川 貞 司	昭和59年度～昭和62年度
〃	淵 義 雄	昭和59年度～昭和62年度
〃	原 田 嘉 人	昭和59年度～昭和63年度
〃	藤 澤 力次郎	昭和59年度～平成 2 年度
〃	古 賀 貞 治	昭和59年度～平成 6 年度
〃	荒 木 健	昭和59年度～平成 6 年度
〃	岡 野 熊 夫	昭和59年度～平成 6 年度
〃	新居田 安 雄	昭和59年度～平成 6 年度
〃	篠 田 尚	昭和59年度～平成 6 年度
〃	吉 村 益 次	昭和59年度～平成 6 年度
〃	田 北 豊	昭和59年度～平成10年度
〃	一 丸 彦四郎	昭和59年度～平成10年度
〃	中 山 笑 子	昭和59年度～平成12年度
〃	薬師寺 和 寿	昭和60年度～昭和61年度
〃	菊 入 敏 安	昭和60年度～昭和62年度
〃	薬師寺 直 喜	昭和60年度～平成 3 年度
〃	漆 間 広 志	昭和61年度～昭和63年度
〃	野 口 豊 史	昭和62年度
〃	菅 原 茂	昭和62年度～平成元年度
〃	安 部 完 一	昭和63年度
〃	高 橋 貞	昭和63年度
〃	安 東 忠	昭和63年度～平成元年度
〃	向 井 好 雄	昭和63年度～平成 2 年度
〃	斉 藤 俊 志	昭和63年度～平成 4 年度
〃	柴 田 辰 男	昭和63年度～平成元年度 平成 4 年度～平成 5 年度
〃	中 畑 浩 一	平成元年度
〃	三 河 健 二	平成元年度
〃	藤 元 宏 紀	平成元年度～平成 7 年度
〃	横 山 幹 男	平成元年度～平成 7 年度
〃	木 本 克 章	平成 2 年度
〃	小 原 正 剛	平成 2 年度～平成 3 年度
〃	今 村 二 郎	平成 2 年度～平成 6 年度
〃	山 崎 正 巳	平成 2 年度～平成 6 年度
〃	長 尾 安 雄	平成 2 年度～平成 8 年度
〃	藤 沢 洋 右	平成 3 年度～平成 5 年度
〃	白 石 淳	平成 3 年度～平成12年度

役職名	氏 名	在 任 期 間
理 事	衛 藤 寛	平成 3 年度～平成13年度
〃	大 塚 映 男	平成 4 年度～平成 8 年度
〃	藤 田 勝 久	平成 5 年度～平成 7 年度
〃	安 見 蔚	平成 6 年度
〃	衛 藤 治	平成 6 年度～平成 8 年度
〃	松 田 保 男	平成 7 年度～平成12年度
〃	高 木 エイコ	平成 7 年度～平成 8 年度
〃	原 口 誠一郎	平成 7 年度～平成 8 年度
〃	渡 部 睦 夫	平成 7 年度～平成 8 年度
〃	江 藤 定	平成 7 年度～平成10年度
〃	利 光 猪 鹿	平成 7 年度～平成10年度
〃	吉 武 健 治	平成 7 年度～平成10年度
〃	手 嶋 世 雄	平成 7 年度～平成11年度
〃	園 田 爽一郎	平成 7 年度～平成12年度
〃	佐々木 利 夫	平成 8 年度～平成10年度
〃	松 下 友 一	平成 8 年度～平成10年度
〃	佐 藤 薫	平成 8 年度～平成11年度
〃	吉 田 金 太	平成 9 年度～平成10年度
〃	小 吹 洋 三	平成 9 年度～平成13年度
〃	磯 崎 賢 治	平成 9 年度～平成13年度
〃	川 野 トミ子	平成 9 年度～平成14年度
〃	平 子 信 彦	平成 9 年度～平成16年度
〃	石 垣 栄 子	平成 9 年度～平成18年度
〃	一 井 哲 郎	平成11年度～平成12年度
〃	小 野 良 人	平成11年度～平成12年度
〃	吉 武 慎 治	平成11年度～平成13年度
〃	市 橋 謙 治	平成11年度～平成14年度
〃	三 浦 真 澄	平成11年度～平成14年度
〃	三 股 彬	平成11年度～平成12年度 平成15年度～平成17年度
〃	岩 田 豊	平成11年度～平成18年度
〃	小 椋 利 吉	平成11年度～平成20年度
〃	佐 嶋 安 直	平成12年度
〃	大 塚 三 郎	平成12年度～平成20年度
〃	中 嶋 信 行	平成13年度～平成14年度
〃	小 野 嘉 子	平成13年度～平成15年度
〃	川 野 登志之	平成13年度～平成16年度
〃	矢 野 麗美子	平成13年度～平成16年度
〃	石 川 弘 明	平成13年度～平成18年度
〃	菅 悦之典	平成13年度～平成18年度
〃	増 田 利 仙	平成13年度～平成18年度
〃	奥 本 敏 男	平成13年度～平成20年度
〃	長 野 浩 司	平成14年度
〃	佐 藤 剛 雄	平成14年度～平成16年度
〃	西 山 市 郎	平成14年度～平成17年度
〃	小 野 宇三郎	平成15年度～平成16年度
〃	木 村 倉 二	平成15年度～平成16年度
〃	牧 野 豊	平成15年度～平成16年度
〃	岡 田 和 明	平成15年度～平成20年度
〃	佐 用 治 生	平成15年度～平成22年度
〃	安 部 寅 雄	平成17年度～平成18年度
〃	中 尾 啓 治	平成17年度～平成18年度

役職名	氏 名	在 任 期 間
理 事	松 本 政 信	平成17年度～平成18年度
〃	福 田 克 充	平成17年度～平成20年度
〃	依 岡 克 子	平成17年度～平成22年度
〃	戎 野 里 子	平成17年度～平成22年度
〃	佐 藤 邦 博	平成17年度～平成24年度
〃	築 城 和 生	平成17年度～平成24年度
〃	阿 部 俊 作	平成18年度～平成19年度
〃	市 原 俊 文	平成18年度～平成20年度
〃	池 辺 勝 彦	平成19年度
〃	吉 田 元	平成19年度～平成21年度
〃	安 部 俊 幸	平成19年度～平成22年度
〃	後 藤 康 雄	平成19年度～平成24年度
〃	姫 野 仙 市	平成19年度～平成26年度
〃	藤 沢 源	平成19年度～平成22年度
〃	神 矢 壽 久	平成20年度～平成21年度
〃	橋 本 広 隆	平成20年度～平成24年度
〃	有 友 俊 雄	平成21年度～平成22年度
〃	佐 藤 哲 也	平成21年度～平成22年度
〃	阿 南 義 弘	平成21年度～平成24年度
〃	平 岡 功 次	平成21年度～平成28年度
〃	佐 藤 聰	平成21年度～平成28年度 平成30年度
〃	臺 博 美	平成21年度～令和 4 年度
〃	村 田 英 明	平成22年度
〃	帯 刀 修 一	平成22年度～平成23年度
〃	入 田 光	平成23年度～平成24年度
〃	房 前 正 弘	平成23年度～平成24年度
〃	河 村 崇 子	平成23年度～平成25年度
〃	佐 藤 孝 一	平成23年度～平成26年度
〃	佐 藤 健 次	平成23年度～平成30年度
〃	宮 崎 英 子	平成23年度～令和 4 年度
〃	吉 田 茂 樹	平成24年度～平成27年度
〃	山 村 幸 男	平成25年度
〃	二 宮 孝 之	平成25年度～平成26年度
〃	安 部 敏 夫	平成25年度～平成28年度
〃	伊 東 盛 夫	平成25年度～平成28年度
〃	木 元 利 廣	平成25年度～平成29年度
〃	藤 元 康 保	平成25年度～平成29年度
〃	菅 原 朝 光	平成25年度～令和 2 年度
〃	今 村 博 彰	平成26年度～平成27年度
〃	竹 内 一 光	平成26年度～平成28年度
〃	幸 野 正 一	平成27年度～平成30年度
〃	由 見 文 洋	平成27年度～平成30年度
〃	三重野 勝	平成27年度～令和 4 年度
〃	江 藤 郁	平成28年度～平成29年度
〃	戸 田 美 和	平成28年度～平成30年度
〃	浦 山 かおる	平成29年度～平成30年度
〃	小 畑 裕 之	平成30年度～令和元年度
〃	齊 藤 龍 伸	令和元年度～令和 2 年度
〃	佐 藤 正 信	令和元年度～令和 2 年度
〃	永 松 薫	令和元年度～令和 2 年度
〃	森 宏	令和元年度～令和 2 年度

役職名	氏 名	在 任 期 間
理 事	橋 本 シズコ	令和元年度～令和 4 年度
〃	佐々木 英 治	令和 3 年度
〃	宗 岡 睦 夫	令和 3 年度～令和 4 年度
〃	三 好 正 昭	令和 4 年度～令和 5 年度
監 事	安 部 宗 吉	昭和59年度
〃	甲 斐 田 人	昭和59年度～平成 3 年度
〃	新井川 勝	昭和60年度
〃	平 田 綾 彦	昭和61年度～昭和62年度
〃	薬師寺 寿 生	昭和63年度～平成 3 年度
〃	山 本 唯 志	平成 4 年度～平成 6 年度
〃	姫 野 堅	平成 4 年度～平成 7 年度
〃	藤 沢 了 一	平成 7 年度～平成10年度
〃	大 平 隆 生	平成 8 年度～平成11年度
〃	石 川 憲 一	平成11年度～平成14年度
〃	三 宮 廣	平成12年度～平成14年度
〃	坪 根 玄 三	平成15年度
〃	築 城 和 生	平成15年度～平成16年度
〃	姫 野 仙 市	平成16年度～平成18年度
〃	東 尚 明	平成17年度～平成28年度
〃	関 茂	平成19年度～平成20年度
〃	房 前 正 弘	平成21年度～平成22年度
〃	佐 藤 哲 也	平成23年度
〃	吉 岡 徹	平成24年度
〃	大 崎 和 吉	平成25年度～令和 4 年度
〃	梶 原 晃	平成29年度～令和 3 年度

現在の理事・監事

(設立40周年記念事業実行委員会)

役職名	氏 名	在 任 期 間
理事長(委員長)	江 藤 郁	令和 3 年度～在任中
副理事長(副委員長)	正 池 功	令和 6 年度～在任中
理事(委員)	斉 藤 修 造	令和 2 年度～在任中
〃	深 草 秀 昭	令和 3 年度～在任中
〃	都 甲 堅 治	令和元年度～在任中
〃	河 合 伊津子	令和 5 年度～在任中
〃	幸 義 廣	平成30年度～在任中
〃	吉 村 正太郎	平成29年度～在任中
〃	渡 邊 邦 治	令和 3 年度～在任中
〃	衛 藤 光	令和 5 年度～在任中
〃	渋谷 建 治	平成29年度～在任中
〃	大 野 憲 一	令和 5 年度～在任中
〃	宮 園 清 孝	平成29年度～在任中
〃	渡 辺 正 道	平成29年度～在任中
〃	小 浦 良 雄	令和 3 年度～在任中
〃	高 橋 豊 文	令和 5 年度～在任中
〃	白 石 郁 子	令和 5 年度～在任中
常務理事(委員)	釘 宮 祐 一	令和 3 年度～在任中
監事(委員)	薬師寺 寿	令和 4 年度～在任中
〃	仲 矢 吉 徳	令和 5 年度～在任中

定時総会・イベント風景

定時総会を行い、(公社)大分市シルバー人材センターの目的である
各種の社会貢献活動に取り組んできました



定 時 総 会



コロナ禍の中、ななせの火群まつり開会式に参加
佐藤市長(現大分県知事)とともに



ななせの火群まつりボランティア清掃



本場鶴崎踊り大会ボランティア清掃



地域住民との交流、会員相互の親睦、当センターの活動内容の普及啓発を目的にふれ愛フェスタを開催



大分いこいの道広場
ボランティア清掃



1月の安全祈願

女性会員の拡大のために各種のセミナーや教室を行ってきました



フラワーアレンジメント教室



いきいきストレッチ教室



食と美容のビューティー講座



ハーバリウム教室



ズンバ教室



シルボンヌ委員会では女性会員拡大を目的にペーパークラフト教室や編み物教室を開催

就業風景



剪定



家事援助



花苗の育成



草刈り



自転車のリサイクル



屋内清掃



児童育成クラブ



スーパーでの水やり



大工



家具の搬出



パンフレットの仕分け・封入



筆耕



カートの移動



自転車整理



洗車

事務所風景

自主・自立・共働・共助



公益社団法人

大分市シルバー人材センター





(公社) 大分市シルバー人材センター
設立40周年記念事業実行委員会



事務局

設立40周年記念誌



公益社団法人 大分市シルバー人材センター
〒870-0026 大分市金池町3丁目2番3号
TEL : 097-538-5575 FAX : 097-538-5576
<https://oita.o-sjc.com/>

(令和7年3月25日発行)